

事務事業評価シート

(H.30)No.	1451	(H.29)No.	1451
-----------	------	-----------	------

事務事業名	地域活力創生事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
	地域活力創生室	大西 哲	

会計区分	事業コード	029901
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	地域活力創生事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 企画費	地域活力創生事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	5	未来につなぐ自立と協働による市政経営
	基本施策	2	自主自立の市政経営
	施策	1	「新・理想郷プラン」の推進
重点プロジェクト	1. 元気創造プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
国と一体となった「まち・ひと・しごと創生」の取組を推進し、市民との意識共有や施策の横断的・戦略的な事業展開により、人口減少の抑制と地域活力の創生を目指します。
事業内容
「名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の効果的な推進を図るため、地域住民や産業界、教育機関、金融機関等を構成員とした推進組織の運営をはじめ、空家の有効活用や雇用等のワンストップサービスの実施、シティプロモーションの展開など、本市への移住・定住促進に向けた取組を進めます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		H.31年度(事業計画)			H.32年度(事業計画)			H.33年度(事業計画)		
主な事業の実績・計画	○「名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の取組推進と効果検証 ・地域活力創生会議の運営 ○移住・定住の促進 ・官民連携による移住相談対応 ・都市圏で開催される移住フェア等への出展 ○シティプロモーションの推進 ・ホームページの充実、ちらしの配布、イベントへの出展などによる市の魅力の情報発信		○「名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の取組推進と効果検証 ○移住・定住の促進 ・官民連携による移住相談対応 ・都市圏で開催される移住フェア等への出展 ○シティプロモーションの推進 ・ホームページの充実をはじめ、動画の配信や高校生徒とのコラボによるSNSを活用した市の魅力の情報発信		○「名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の取組推進と効果検証 ○移住・定住の促進 ・官民連携による移住相談対応 ・都市圏で開催される移住フェア等への出展 ○シティプロモーションの推進			○「名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の取組推進と効果検証 ○移住・定住の促進 ・官民連携による移住相談対応 ・都市圏で開催される移住フェア等への出展 ○シティプロモーションの推進			○「名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の効果検証 ○シティプロモーションの推進 ※国の動向に注視しながら取組内容を検討		

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		652千円		525千円	550千円	550千円	50千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他(繰入金)				525			
一般財源	0	652	0	0	550	550	50
人工数							
職員		0.91人		2.25人	2.00人	2.00人	1.00人
臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	6,734千円	0千円	16,650千円	14,800千円	14,800千円	7,400千円
①+②総事業費	0千円	7,386千円	0千円	17,175千円	15,350千円	15,350千円	7,450千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
<ul style="list-style-type: none"> 「総合戦略」推進のための庁内調整に取り組みました。各種の取組にあたっては地方創生関連交付金を最大限に活用して進めてきました。 「総合戦略」に基づく前年度の取組の効果検証のため、市民アンケートのほか民産学官金労言の分野の外部委員で構成する「名張市地域活力創生会議」の開催を通じて様々な観点からの意見聴取を行いました。 移住定住ホットラインでは、6月から新たな取組として、“なばり暮らしめぐりツアー”の受付を開始したとともに(6件対応)、7月からは専属の移住コンシェルジュを配置し、移住に関する相談(計106件)に対しワンストップでの対応に努めました。あわせて、都市圏で開催される移住フェア(9回)や各種イベント(4回)への出展等を通じ、市外での相談対応と名張市の魅力の情報発信にも努めました。これらの取組により20世帯44名が本市に移住いただきました。 市が空き家利活用促進地域に指定した、名張・赤目・桔梗が丘の3地域のみなさんと、商工会議所、近大高専らと行政(都市整備、産業、当室)とで、兵庫県篠山市の取組視察を実施しました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
<ul style="list-style-type: none"> 「名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の推進のため、国の動向を注視しながら、今後も可能な限り財源確保に努めていく必要がある。前年度の取組検証結果を踏まえ、より効果効率的な事業展開を図ります。 移住定住の促進については、今後は特に空き家や遊休農地の利活用などの取組も含めた地域との連携による移住者への支援体制を確立していくことが効果的だと考えます。 動画配信等、新たなシティプロモーションの展開も必要と考えています。

6. 事務事業の取組に係る市の計画
名張市 まち・ひと・しごと創生 総合戦略